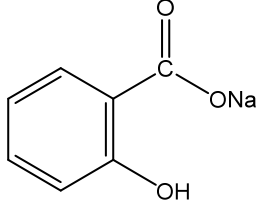


3	CAS 番号 : 54-21-7	物質名 : サリチル酸ナトリウム
<p>化審法官報公示整理番号 : 3-1639 化管法管理番号 : 分子式 : $C_7H_5NaO_3$ 構造式 : 分子量 : 160.10</p> <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">  </div>		
<p>1. 物質に関する基本的事項</p> <p>本物質の水溶解度は 1.25×10^6 mg/L で、分配係数 (1-オクタノール/水) (log Kow) は -1.43 (pH 不明)、蒸気圧は 4.84×10^{-9} Pa (25°C) (MPBVPWIN により推定) である。生物分解性 (好氣的分解) は、酸素消費量で 88.19 % であった。また、加水分解性については、分解性スクリーニング試験の結果、7 日後の残存率は 126% (初期濃度 : 1.24 µg/mL、pH = 7) であった。</p> <p>本物質の主な用途は、医薬品、試薬とされているほか、変性剤、防腐剤として化粧品に配合されている。医薬品ではサリチル酸系鎮痛剤に用いられ、効能・効果は症候性神経痛である。動物用医薬品では他剤との合剤として神経系用薬、代謝性用薬に用いられる。また、2021 年度における製造・輸入数量は、届出事業者が 2 社以下のため公表されていない。医薬品としての 2021 年における生産・輸入品数量は 0.03 t であった。</p> <p>-----</p> <p>2. 曝露評価</p> <p>本物質は化学物質排出把握管理促進法 (化管法) 第一種指定化学物質ではないため、排出量及び移動量は得られなかった。Mackay-Type Level III Fugacity Model により媒体別分配割合の予測を行った結果、大気、水域、土壌に等量排出された場合、土壌に分配される割合が多かった。</p> <p>水生生物に対する曝露を示す予測環境中濃度 (PEC) は、公共用水域の淡水域では 1.4 µg/L 程度、同海域域では概ね 1.3 µg/L となった。</p> <p>-----</p> <p>3. 生態リスクの初期評価</p> <p>サリチル酸としての急性毒性値は、藻類等では緑藻類 <i>Raphidocelis subcapitata</i> の生長阻害における 72 時間 EC₅₀ 65,100 µg/L、甲殻類等ではオオミジンコ <i>Daphnia magna</i> の遊泳阻害における 48 時間 EC₅₀ 76,800 µg/L、魚類ではゼブラフィッシュ <i>Danio rerio</i> の 96 時間 LC₅₀ 86,300 µg/L 超が信頼できる知見として得られたためアセスメント係数 100 を適用し、急性毒性値に基づく予測無影響濃度 (PNEC) 750 µg/L (サリチル酸ナトリウムとして) が得られた。</p> <p>サリチル酸としての慢性毒性値は、藻類等ではイボウキクサ <i>Lemna gibba</i> の生長阻害における 7 日間 NOEC 2,760 µg/L、甲殻類等ではハリナガミジンコ <i>Daphnia longispina</i> の繁殖阻害における 21 日間 NOEC 5,600 µg/L、魚類ではコイ (胚) <i>Cyprinus carpio</i> の死亡及び仔魚の成長における 34 日間 NOEC 20,000 µg/L が信頼できる知見として得られたためアセスメント係数 10 を適用し、慢性毒性値に基づく PNEC 310 µg/L (サリチル酸ナトリウムとして) が得られた。</p> <p>本物質の PNEC は、藻類等の慢性毒性値から得られた 310 µg/L (サリチル酸ナトリウムとして) を採用した。</p> <p>PEC/PNEC 比は淡水域で 0.005、海域域では 0.004 であった。生態リスクの判定としては、現時点では作業の必要はないと考えられる。PEC 及び PNEC の関連情報はないが、PEC/PNEC 比による生態リスクの判定を考慮すると、総合的な判定としても、現時点では作業の必要はないと考えられる。</p>		

有害性評価 (PNEC の根拠)			アセスメント 係数	予測無影響濃度 PNEC (µg/L)	曝露評価		PEC/ PNEC 比	総合的な 判定
生物種	急性・慢性 の別	エンド ポイント			水域	予測環境中濃度 PEC (µg/L)		
藻類等 イボウキクサ	慢性	NOEC 生長阻害	10	310	淡水	1.4	0.005	○
					海水	1.3	0.004	

4. 結論

	結論	判定
生態リスク	現時点では更なる作業の必要性は低い	○

[リスクの判定] ○：現時点では更なる作業の必要性は低い、▲：更なる関連情報の収集に努める必要がある、
■：詳細な評価を行う候補、×：現時点ではリスクの判定はできない。